

保健福祉局の運営にあたって

1 取組姿勢

保健福祉局は「札幌新まちづくり計画」の基本目標の一つである「健やかに暮らせる共生の街さっぽろ」を達成するための推進役です。

札幌市は、少子高齢化の急速な進展のなか、高齢の方や障がいのある方をはじめ、保健福祉サービスを必要とする市民の方々に対し、適切な支援を行っていくことを目指します。

特に本年度は、介護保険制度の見直しや障害者自立支援法の施行、国民健康保険制度の抜本的見直しなど、大幅な制度改革の時期にあたります。これらの改革を踏まえ、保健福祉局の組織再編とともに、区役所の保健福祉部も新たな組織体制の下でスタートいたします。局と区保健福祉部との連携のなかで、関連業務が円滑かつ適正に進められるよう万全を期すとともに、市民の皆さまに対して、分かりやすい形でタイムリーに情報提供していきたいと考えております。

また、業務執行に当たっては、局内の推進体制を柔軟に構築し、職員間の情報共有を推進するとともに、区役所など関係部局の理解と協力を得て、局が一体となって、共に支えあう社会の実現に向け邁進してまいります。

平成 18 年（2006 年）4 月

保健福祉局理事 八反田 元子

（高齢・障がい・生保・国保担当）

2 最重点取組項目

地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

高齢者

高齢者保健福祉計画等進捗状況調査
はつらつシニアサポート事業
転倒骨折予防推進ネットワーク事業
「2015 年の高齢者介護」推進事業
ねんりんピック開催準備事業

障がい者

在宅サービス

全身性重度障がい者 24 時間介護体制の確立
障がい者グループホームの拡充
地域療育等支援施設事業

施設サービス

重症心身障害児（者）通園事業
精神障がい者の地域生活支援センターの運営
知的障害者通所施設整備費等補助

就労支援

IT を活用した障がい者在宅就労支援事業
小規模作業所強化推進事業
障がい者「元気ショップ」運営事業

その他

精神科救急医療システム運営事業
障がい者理解促進事業
障がい者による政策提言サポーター制度運営事業
聴覚障がい者用字幕（手話）入りビデオカセット自主制作・貸出事業

高齢者及び障がい者

高齢者・障がい者の快適生活支援事業
地下鉄駅エレベーター等整備
福祉除雪事業
地域福祉権利擁護事業
福祉のまち推進センター補助

その他の重点事業

高齢者のための施設の整備
国民健康保険の収納対策の強化
社会福祉法人、社会福祉施設への指導体制の強化
生活保護受給者に対する就労支援